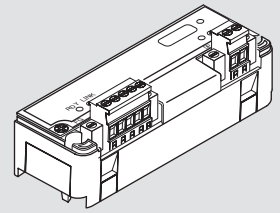


AnyWire DB A20-AnyWireASLINK Bridge Unit

AB27-AL

ねじ式Euro端子台



このAnywire System Product Guideは個別製品について記載しています。内容をお読みの上ご理解ください。

【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

○システム安全性の考慮

本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。

○設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。



注意

○システム電源

DC24V安定化電源を使ってください。安定化電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。

○高圧線、動力線との分離

AnyWireシステムは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。

○コネクタ接続、端子接続

・コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かったり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。

・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。

・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。

○機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。

○伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとスレーブユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。

○AnyWireシステムは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

【特長】

- ・AnyWire DB A20シリーズに対応します。
- ・DB A20シリーズシステムの下でAnyWireASLINKシステムのスレーブユニットを使用するためのブリッジユニットです。
- ・AnyWireASLINKの入力256点、出力256点の制御と、指定したスレーブユニットの、ステータス詳細やセンシングレベルのモニタができます。

【型式】

AB27-AL	AnyWire DB A20-AnyWireASLINK ブリッジユニット
---------	--

【保証について】

■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲

上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

(1)需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。

(2)故障の原因が納入品以外の事由による場合。

(3)納入者以外の改造、または修理による場合。

(4)その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。

また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更

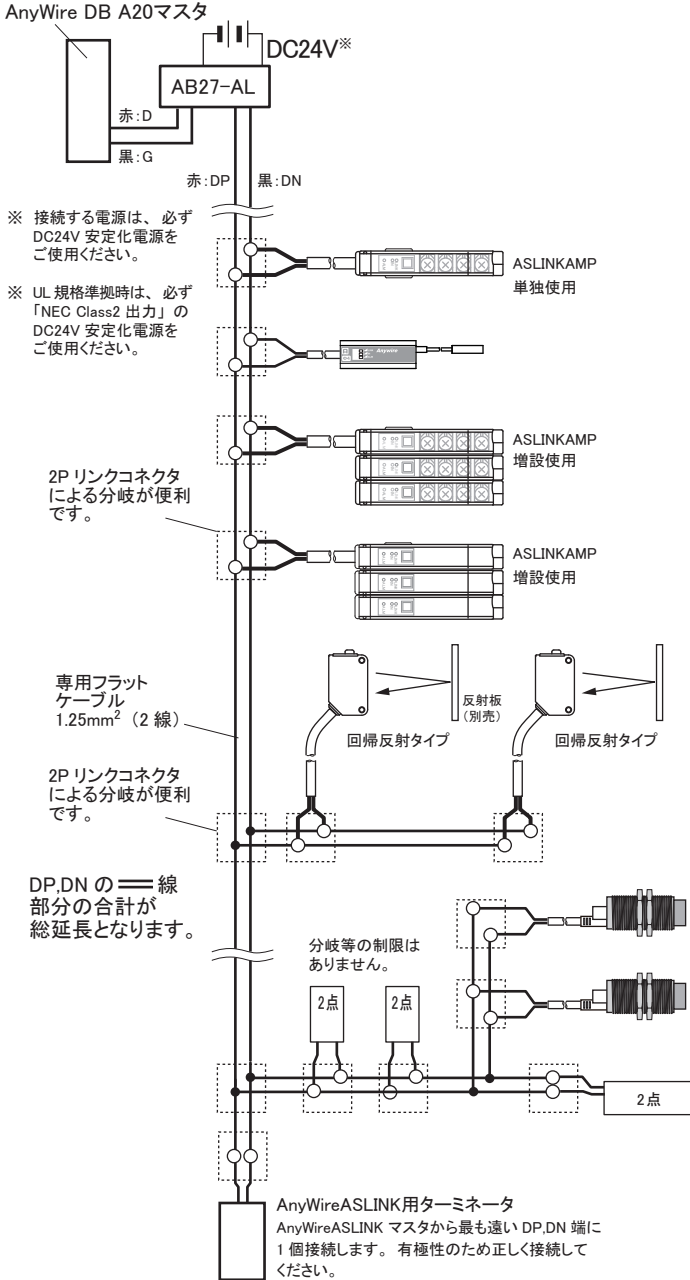
本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただく場合があります。

【AnyWireASLINKの接続方法】

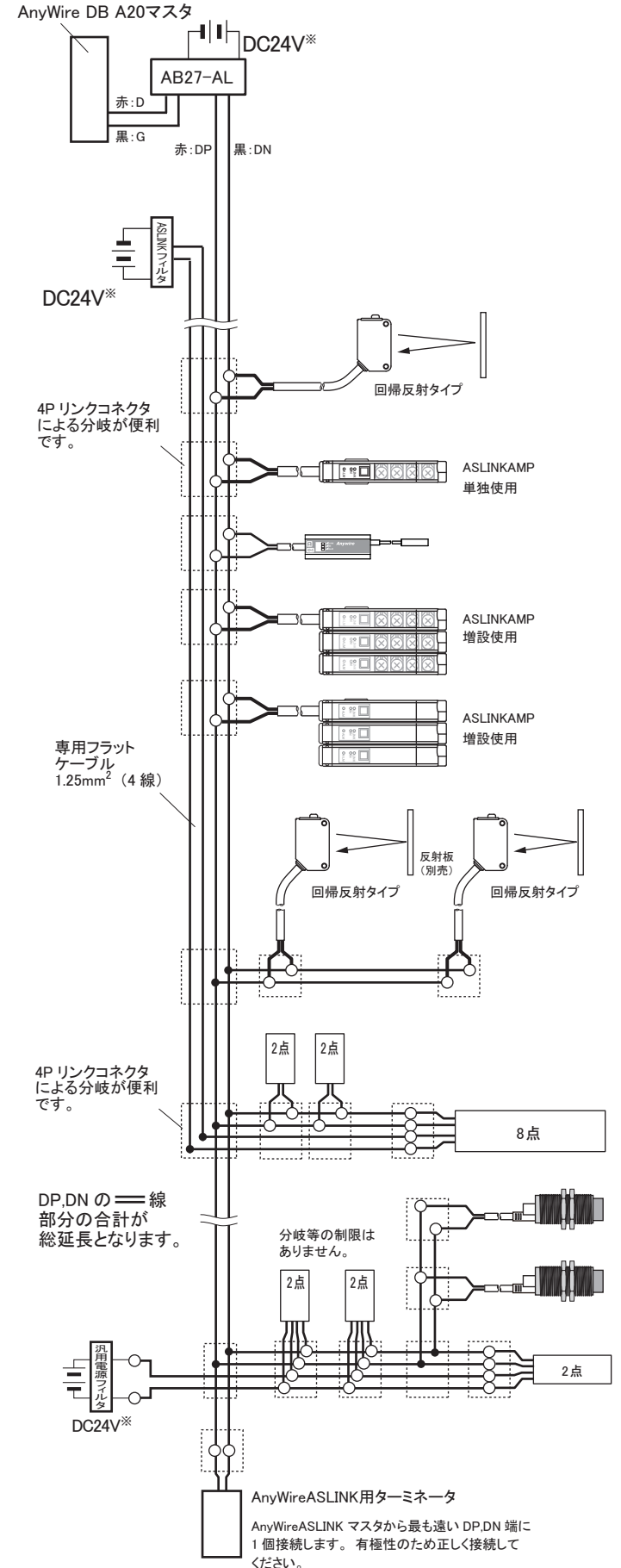
AnyWireASLINKは、負荷電流に応じて2線式スレーブユニットと4線式スレーブユニットを選択できます。
 負荷電流が少ない場合、2線式（非絶縁）スレーブユニットを使用する事で、ローカル給電不要で簡便な配線が可能です。
 また、負荷が集中する箇所や接続台数を優先させる場合には、ローカル給電ができる4線式（絶縁）スレーブユニットとの混在も可能です。
 なお、外部電源を使った入力、負荷の駆動を行う場合は、必ず4線式（絶縁）スレーブユニットを使用してください。

【システム構成例】

■2線式（非絶縁）ターミナルのみでの接続



■2線式（非絶縁）、4線式（絶縁）ターミナルの混在例



注意

・伝送線線径、伝送距離と許容供給電流は、(表1)の内容を参照し適正な範囲で使用してください。

- ・AnyWireASLINKマスタのDP, DNと各機器のDP, DNを同じ記号どうし正しく接続します。
- ・分岐長、分岐数に制限はありません。
- ・ターミナルに付属しているケーブル長も「総延長」に含めてください。
- ・AnyWireASLINKマスタから一番遠い伝送線の端末にターミナータ(有極性)を接続してください。



注意

AnyWireASLINKで使用している電源とは別の電源で制御されている負荷(入出力ポート等)と接続する場合は、必ず4線式(絶縁)ターミナルを使用してください。誤動作の原因となります。

【設置場所】

- ・振動や衝撃が直接本体に伝わらない場所
- ・粉塵に直接晒されない場所
- ・金属屑、スパッタ等導体が直接本体にかからない場所
- ・結露しない場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、硫黄を含む雰囲気のない場所
- ・高電圧、大電流のケーブルより離れた場所
- ・サーボ、インバータ等高周波ノイズを発生するケーブルコントローラより離れた場所

【4線式(絶縁)ターミナル使用時の注意点】

供給する電源系統において DP, DN, 24V, 0V 線の併走が総延長 50m を超える場合は、「ASLINK フィルタ [型式 ANF-01]」または「コーセル株式会社 [型式 EAC-06-472]」を併走が始まる位置の 24V, 0V に直列接続してください。

耐ノイズ性の向上、ならびに伝送信号によるクロストークの影響を抑え、信号の安定化を図ります。
マスタ用電源から一括給電する場合、ローカル電源から給電する場合いずれも挿入対象となります。

CE 規格に準拠する場合は、敷設方法、距離に係わらず「ASLINK フィルタ [型式 ANF-01]」を挿入してください。

■フィルタ許容電流値

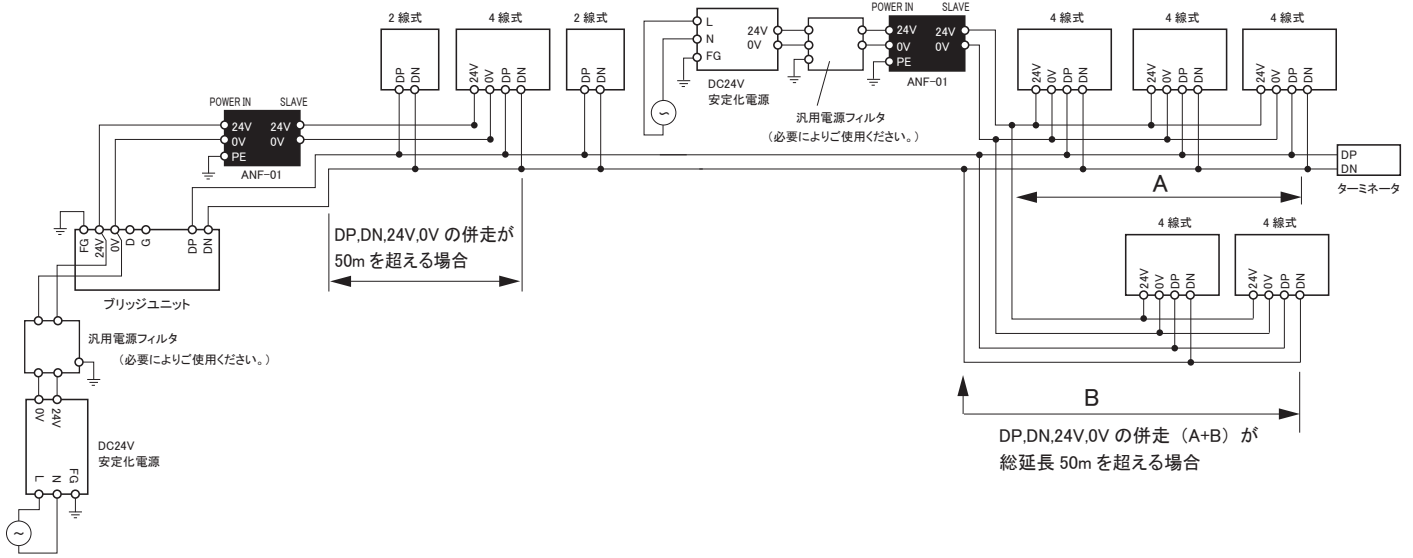
機種	型式	許容電流
ASLINK フィルタ	ANF-01	最大 5A/DC24V
コーセル株式会社フィルタ	EAC-06-472	最大 6A/DC24V

■エニワイヤ 型式 : ANF-01 接続例

①一括給電

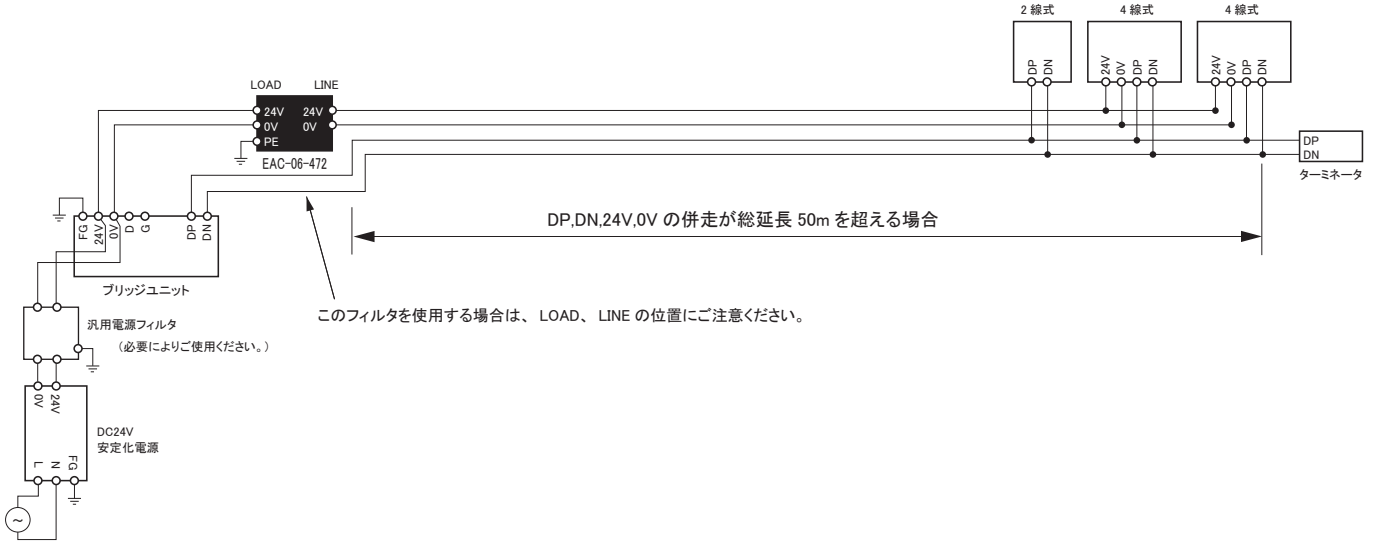


②ローカル給電・分岐

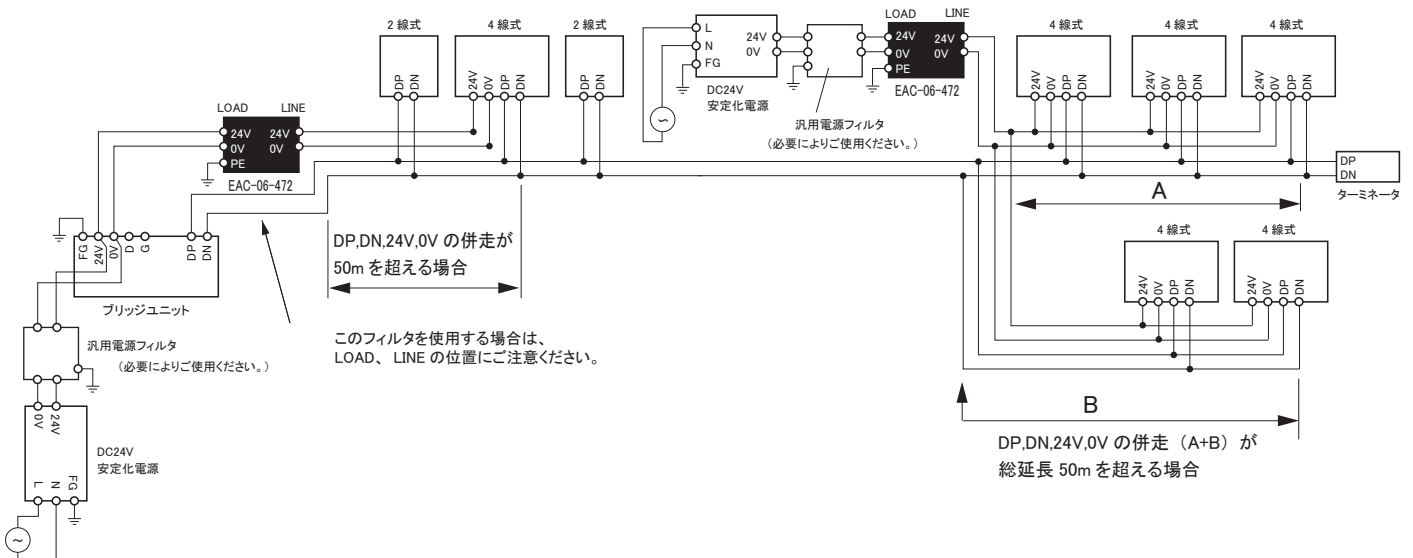


■コーセル株式会社 型式：EAC-06-472 接続例

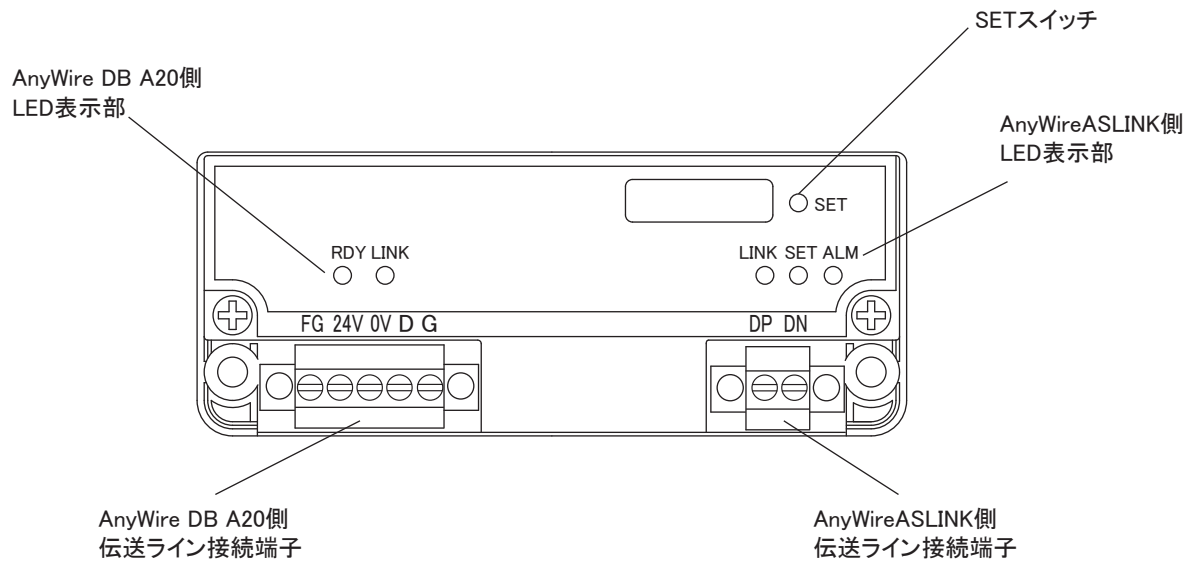
①一括給電



②ローカル給電・分岐

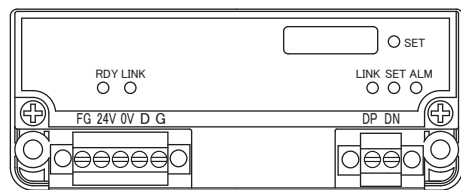


【各部の名称】



【接続端子】

■本機接続端子



FG 24V 0V D G

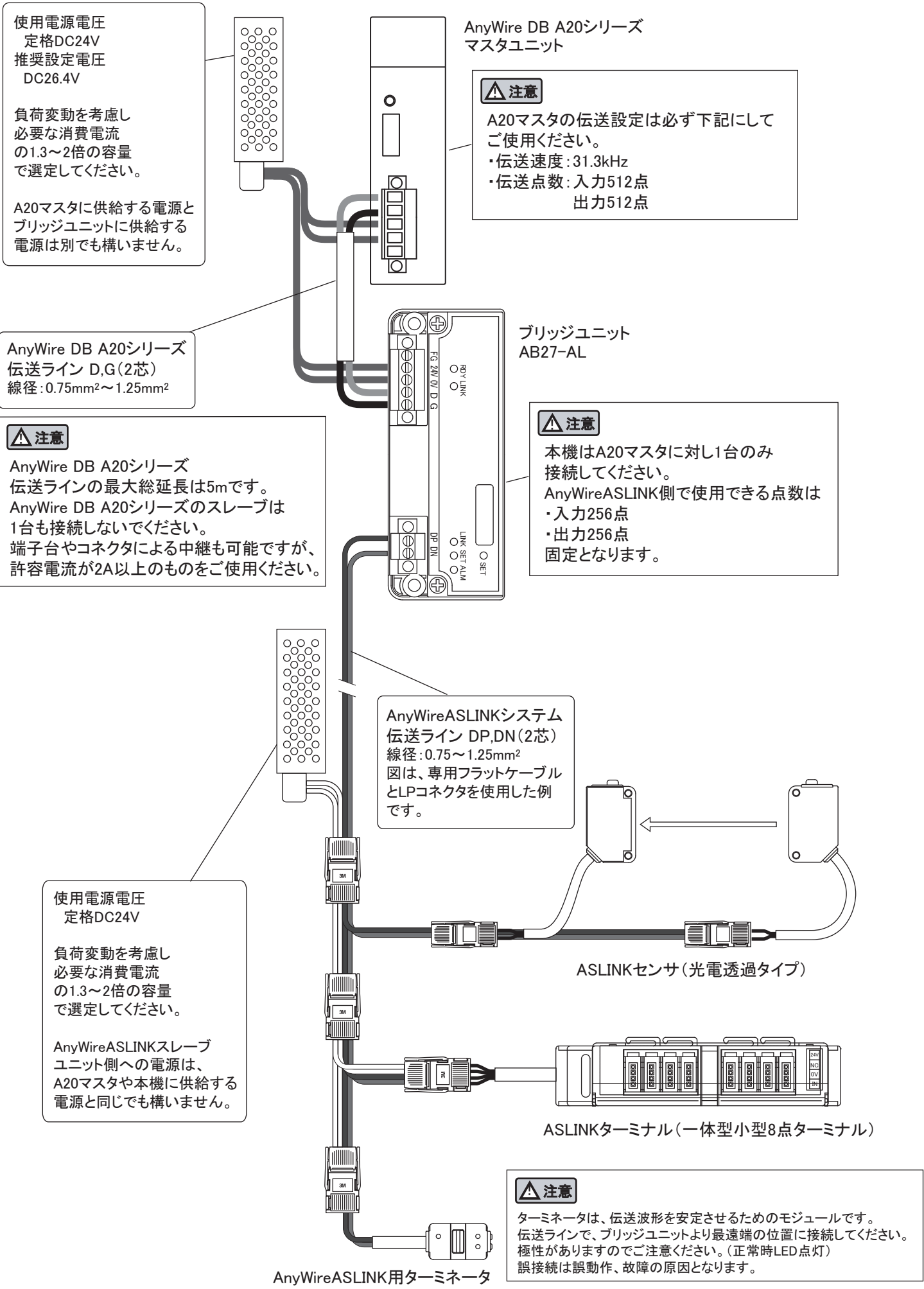
DP DN

AnyWire DB A20側
伝送ライン接続端子

AnyWireASLINK側
伝送ライン接続端子

端子台	端子名	意味	端子台仕様	
AnyWire DB A20側	FG	24V-0V端子間に挿入されているノイズフィルタの中性点に接続しています。シーケンサの機能設置端子(FG端子)とともに1点接地してください。	端子台形式 MCVW 1,5/5-STF-3,5	適応棒端子 フェニックス・コンタクト株式会社 ・電線径0.75mm ² の場合:A0,75-8 ・電線径1.25mm ² の場合:A1,5-7
	24V	DC24V外部供給電源を接続してください		
	0V			
	D	AnyWire DB A20 伝送信号端子(+側)		
	G	AnyWire DB A20 伝送信号端子(-側)		
AnyWire ASLINK側	DP	AnyWireASLINK 伝送信号端子(+側)	端子台形式 MCVW 1,5/2-STF-3,5	
	DN	AnyWireASLINK 伝送信号端子(-側)		

【接続例】



【伝送線許容供給電流】

AnyWireASLINKシステムは、DC24Vに伝送信号を重畳させた電源重畳方式の伝送です。

伝送ライン(DP, DN)線径と総配線距離により、供給できる電流値が変わります。

下記(表1)に従って、適正な範囲でご使用ください。

■伝送線の線径、距離と供給電流の関係(表1)

伝送線(DP, DN)の線径	伝送線(DP, DN)供給電流値		
	総延長50m以下	総延長50mを超え～100m以下	総延長100mを超え～200m以下
1.25mm ²	MAX 2A	MAX 1A	MAX 0.5A
0.75mm ²	MAX 1.2A	MAX 0.6A	MAX 0.3A

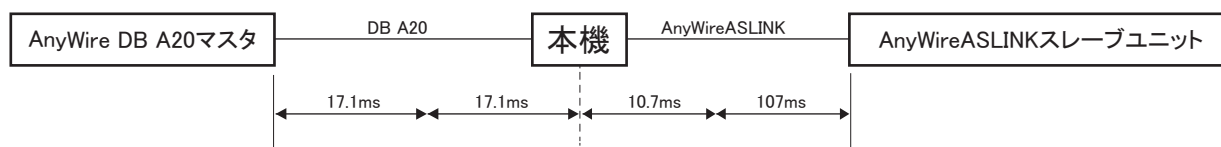
【伝送サイクルタイム】

本機使用時の伝送サイクルタイムは、下記(表2)の通りです。

実際には2重照合の影響により、AnyWire DB A20側とAnyWireASLINK側それぞれで、サイクルタイムの2倍の「伝送遅れ時間」が発生します。

■各伝送部分の伝送サイクルタイム(表2)

伝送点数設定	AnyWire DB A20	AnyWireASLINK
	31.3kHz(200m仕様)	27kHz(固定)
入力256点、出力256点	—	10.7ms
入力512点、出力512点	17.1ms	—

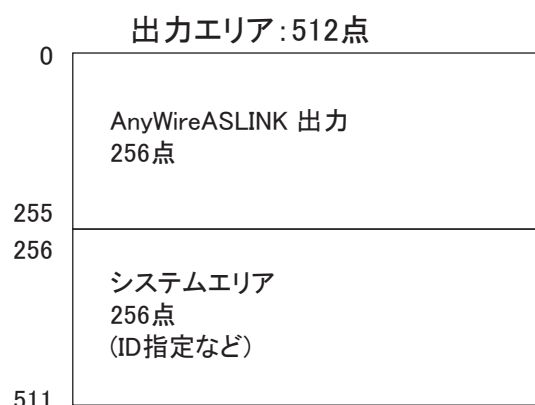
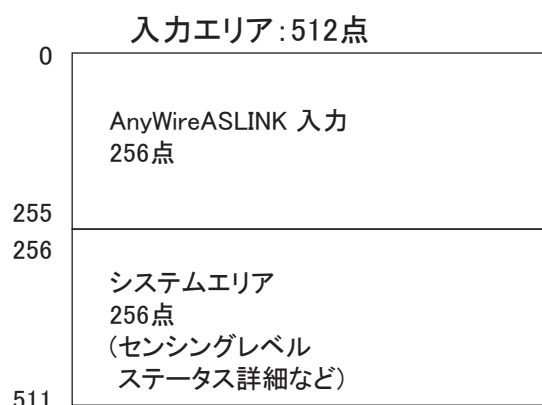


$$\text{伝送遅れ時間} = (17.1\text{ms} \times 2) + (10.7\text{ms} \times 2) = 55.6\text{ms}$$

【入出力エリア】

本機は、AnyWire DB A20マスタユニット側の入出力エリアを入力512点、出力512点占有し、I/Oエリアとシステムエリアに分けて使用します。

AnyWire DB A20側メモリのイメージを示します。



【入メモリマップ】

AnyWire DB A20 アドレス	Bit No.															
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
0	AnyWireASLINK入力アドレス 0～15															
16	AnyWireASLINK入力アドレス 16～31															
32	AnyWireASLINK入力アドレス 32～47															
48	AnyWireASLINK入力アドレス 48～63															
64	AnyWireASLINK入力アドレス 64～79															
80	AnyWireASLINK入力アドレス 80～95															
96	AnyWireASLINK入力アドレス 96～111															
112	AnyWireASLINK入力アドレス 112～127															
128	AnyWireASLINK入力アドレス 128～143															
144	AnyWireASLINK入力アドレス 144～159															
160	AnyWireASLINK入力アドレス 160～175															
176	AnyWireASLINK入力アドレス 176～191															
192	AnyWireASLINK入力アドレス 192～207															
208	AnyWireASLINK入力アドレス 208～223															
224	AnyWireASLINK入力アドレス 224～239															
240	AnyWireASLINK入力アドレス 240～255															
256	-	-	-	H	-	G	-	F	-	-	-	E	D	C	B	A
272	-	-	-	-	-	-	-	-	接続台数							
288	-	-	-	-	最新エラーコード											
304	-	-	-	-	最新エラー発生ID											
320	J	ID番号①のステータス詳細														
336	ID番号①のセンシングレベル															
352	J	ID番号②のステータス詳細														
368	ID番号②のセンシングレベル															
384	J	ID番号③のステータス詳細														
400	ID番号③のセンシングレベル															
416	J	ID番号④のステータス詳細														
432	ID番号④のセンシングレベル															
448	J	ID番号⑤のステータス詳細														
464	ID番号⑤のセンシングレベル															
480	J	ID番号⑥のステータス詳細														
496	ID番号⑥のセンシングレベル															

A: ユニットREADY

B: DP, DN短絡異常

C: 24V, DP短絡異常

D: 24V電源電圧低下異常

E: DP-DN断線異常

F: スレーブユニットアラーム信号

G: スレーブアクセス異常フラグ

H: アドレス自動認識フラグ

J: 更新フラグ折り返し ※更新フラグMと連動します。パラメータ読み出しの際は、MとJが一致している事を確認してください。

-: 予備

【出カメモリマップ】

DB A20アドレス	Bit No.															
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
0	AnyWireASLINK出力アドレス 0～15															
16	AnyWireASLINK出力アドレス 16～31															
32	AnyWireASLINK出力アドレス 32～47															
48	AnyWireASLINK出力アドレス 48～63															
64	AnyWireASLINK出力アドレス 64～79															
80	AnyWireASLINK出力アドレス 80～95															
96	AnyWireASLINK出力アドレス 96～111															
112	AnyWireASLINK出力アドレス 112～127															
128	AnyWireASLINK出力アドレス 128～143															
144	AnyWireASLINK出力アドレス 144～159															
160	AnyWireASLINK出力アドレス 160～175															
176	AnyWireASLINK出力アドレス 176～191															
192	AnyWireASLINK出力アドレス 192～207															
208	AnyWireASLINK出力アドレス 208～223															
224	AnyWireASLINK出力アドレス 224～239															
240	AnyWireASLINK出力アドレス 240～255															
256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	L	K
272	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
288	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
304	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
320	M	N	0	0	0	0	ID番号①									
336	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
352	M	N	0	0	0	0	ID番号②									
368	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
384	M	N	0	0	0	0	ID番号③									
400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
416	M	N	0	0	0	0	ID番号④									
432	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
448	M	N	0	0	0	0	ID番号⑤									
464	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
480	M	N	0	0	0	0	ID番号⑥									
496	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

K: 異常フラグクリア
 L: アドレス自動認識指令
 N: 更新開始
 M: 更新フラグ

[ID 番号について]

ID	内容
000H ~ 0FEH	出カスレーブユニットのアドレス 0 ~ 254
200H ~ 2FEH	入カスレーブユニット、または入出力混合スレーブユニットのアドレス 0 ~ 254

【エラーコード】

AnyWire DB A20側入力エリアの256～271は、AnyWireASLINK側の伝送状態を示すフラグが格納されます。フラグは、内容により格納位置が決まっています。
異常フラグ、アラームが格納された場合、対応する最新内容が288～303に下記エラーコードで格納されます。異常の際は、ここに格納されたコードを読み出し要因を確認してください。
異常要因が重複して発生した場合は、下記優先順位により格納されます。

■入力エリア

256	-	-	-	H	-	G	-	F	-	-	-	E	D	C	B	A
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- A: ユニットREADY
- B: DP, DN短絡異常
- C: 24V, DP短絡異常
- D: 24V電源電圧低下異常
- E: DP-DN断線異常
- F: スレーブユニットアラーム信号
- G: スレーブアクセス異常フラグ
- H: アドレス自動認識フラグ
- : 予備

■入力エリア

288	-	-	-	-	最新エラーコード										
-----	---	---	---	---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

■アラーム

エラーコード	内容
012Eh	パラメータアクセス対象ID異常
0131h	スレーブユニットステータス異常
0190h	アドレス自動認識後ID重複検知
0191h	アドレス自動認識後ID未設定(アドレス255)検知

■異常

エラーコード	内容
00C8h	24V電源電圧低下
00C9h	DP, DN短絡
00CAh	DP-DN断線
00CBh	24V, DP短絡

【最新エラー発生ID】

最新エラーコード格納エリアに格納されたエラーコードの対象となるIDが格納されます。

■入力エリア

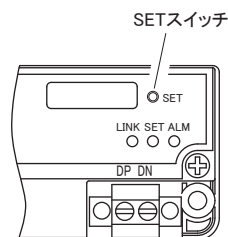
304	-	-	-	-	最新エラー発生ID										
-----	---	---	---	---	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ID	内容
000H ~ 0FEH	出カスレーブユニットのアドレス 0 ~ 254
200H ~ 2FEH	入カスレーブユニット、または入出力混合スレーブユニットのアドレス 0 ~ 254

【エラーフラグの復旧】

AnyWireASLINK側で24V電源電圧低下、DP, DN短絡、24V, DP短絡異常が発生すると、AnyWireASLINK側の伝送波形送出が止まり、ALM表示点滅とエラーフラグ格納が書き込まれます。要因が解消されてもこの状態は保持します。

これを復旧させるには、出力エリアの256に1を書き込むか、本機のSETスイッチを2回押してください。



■出力エリア

256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	L	K
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

K: 異常フラグクリア
L: アドレス自動認識指令

↑
256番に“1”を書き込む

【アドレス自動認識】

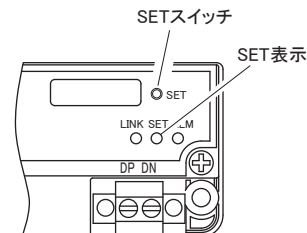
接続されているスレーブユニットのID(アドレス)をマスタユニットのE²PROMに記憶させることを、アドレス自動認識と呼びます。マスタユニットは、記憶したIDを順次送り出し、そのID(アドレス)を持つスレーブユニットが応答を返すことにより、断線検知とスレーブユニットの生存確認をしています。

この情報は電源を切っても記憶されています。

伝送ラインの断線やスレーブユニットへの電源供給が断られるとユニットが応答できなくなるので、断線フラグの書き込みと表示灯でこれを通知します。

操作方法:

- ・接続している全てのスレーブユニットが正常に動作している事を確認してください。
- ・出力エリアの257に1を書き込むか、SET表示が点灯するまでSETスイッチを長押しし、点灯したら押すのを止めます。
- ・SET表示が、点灯→点滅→消灯になったら記憶が完了です。



■出力エリア

256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	L	K
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

K: 異常フラグクリア
L: アドレス自動認識指令

↑
257番に“1”を書き込む

操作タイミング:

アドレス自動認識は次のタイミングで実施してください。

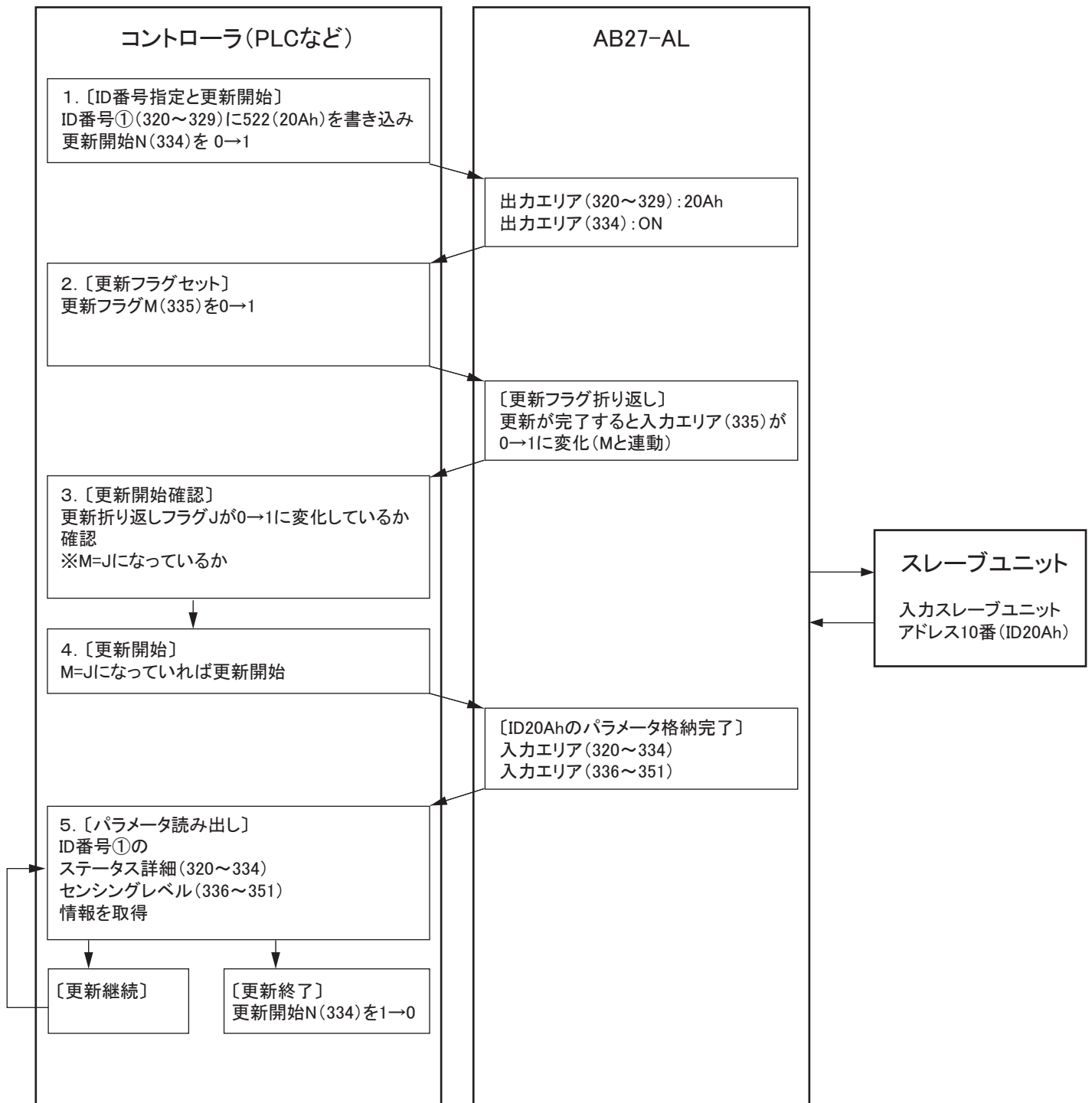
- ・初めて通電する時
- ・稼働後、スレーブユニットを増設した時
- ・稼働後、スレーブユニットを撤去した時
- ・稼働後、スレーブユニットのアドレスを変更した時

⚠ 注意

本機はアドレスを持ちません。
AnyWire DB A20システム側でアドレス自動認識をしても、登録台数は0台となります。

【ステータス詳細、センシングレベルの取得】

入カスレーブユニット アドレス10番 (ID=20Ah) のステータス詳細、センシングレベルを取得する流れを示します。

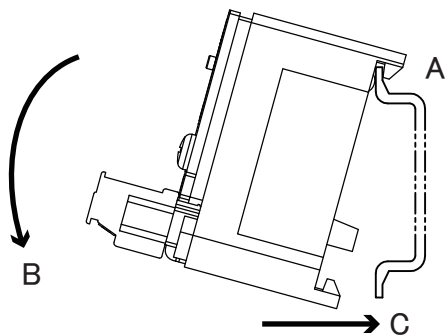


【DINレールへの着脱について】

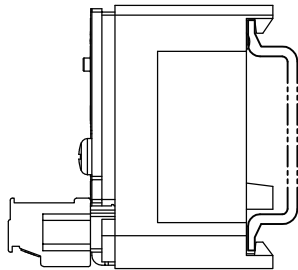
本機は、DINレールに取り付けてご使用ください。

1. 取り付け

DINレールの片側にA側のフックをかけ、B方向に引き、C側に下ろす。

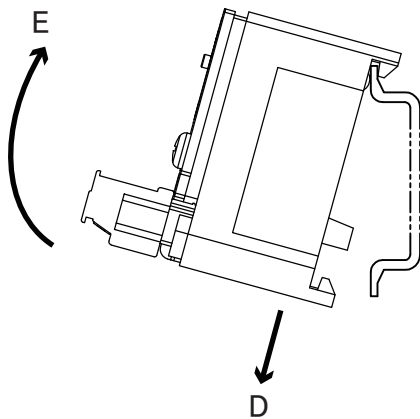


DINフックをカチッと音がするまで押し込み、DINレールに引っ掛ける。
確実に取り付けられていることを確認する。



2. 取り外し

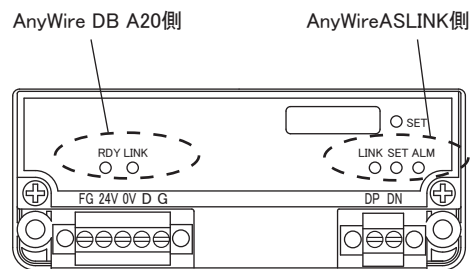
DINフックをD方向へ引っ張りながら、本体をE方向へ引き上げる。



【モニタ表示】

AnyWire DB A20 側

LED名称	表示状態	内容
LINK (緑)	点滅	伝送信号受信
	点灯 or 消灯	伝送異常
RDY (橙)	点灯	24V 電源供給あり
	点滅	24V 電源電圧低下
	消灯	24V 電源供給なし



AnyWireASLINK 側

LED名称	表示状態	内容
LINK (緑)	点滅	データリンク可
	点灯 or 消灯	データリンク不可
SET (緑)	点灯	アドレス自動認識実行中
	点滅	EEPROM 書き込み中
	消灯	正常動作中
ALM (赤)	点灯	DP, DN 断線、スレーブユニット応答なし
	遅い点滅	DP-DN 短絡、24V-DP 短絡
	早い点滅	24V 電源供給なし、または電圧が低い
	消灯	正常動作中

【トラブルシューティング】

本体の LED が以下の表示になった場合は、次のように対処してください。

AnyWire DB A20 側

LINK	RDY	原因	処置
○ 消灯	○ 消灯	・AnyWire DB A20システム自体の電源が入っていない。または電圧が低い。	・AnyWire DB A20システムの電源状況を確認し、電源を投入してください。 ・供給している電源電圧が適正範囲内*が確認してください。
●/○ 点灯/消灯	● 点灯	・伝送信号が正しく供給されていない。	・D,Gラインに断線や短絡がないか確認してください。 D,Gラインが正しく配線されているか確認してください。 ・AnyWire DB A20システムの伝送速度が31.3kHzになっているか確認してください。

AnyWireASLINK 側

LINK	ALM	原因	処置
●/○ 点灯/消灯	○ 消灯	・本機が正しく動作できていない。	・本機に供給している電源電圧が、適正範囲内(21.6~27.6V)が確認してください。
◎ 点滅	● 点灯	・DP, DN断線、スレーブユニットに電源が供給されていない。(スレーブユニット応答なし) ・アドレス自動認識を行っていない。	・DP, DNに断線がないか確認してください。 スレーブユニットに電源が供給されているか確認してください。 アドレス自動認識を行ってからアドレス番号が変更されていないか確認してください。 ・通電初期はアドレス自動認識を行うまでALM点灯状態となります。
◎ 点滅	◎ 遅い点滅 (2s間隔)	・DP-DN間が短絡している。 ・DP-DN消費電流が制限を超えている。 ・24V-DP間が短絡している。	・マスタユニットまたはスレーブユニット配線時に、DP-DNの接触や誤配線がないか確認してください。 ・DP-DNの消費電流が伝送線許容供給電流値以内になるよう、ケーブル(線径、総延長)やスレーブ(種類、接続台数)を修正してください。 ・マスタユニットまたはスレーブユニット配線時に、24V-DPの接触や誤配線がないか確認してください。
◎ 点滅	◎ 早い点滅 (0.4s間隔)	・24V電源電圧が低い。	・本機に供給している電源電圧が、適正範囲内(21.6~27.6V)が確認してください。

【仕様】

■一般仕様

使用電源電圧	DC24V +15%~-10% (DC21.6~27.6V) リップル0.5Vp-p以下
使用周囲温度	0~+55°C
使用周囲湿度	10~90%RH 結露なきこと
保存温度	-25~+75°C
雰囲気	腐食性ガスがないこと
使用標高 ^{※1}	0~2000m (標高0mでの大気圧以上に加圧した環境下で保存、使用不可)
汚染度 ^{※2}	2以下

※1 AnyWireASLINK 機器を標高 0m の大気圧以上に加圧した環境で使用、または保存しないでください。誤動作の原因となります。

※2 その機器が使用される環境における、導電性物質の発生度合を示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染しか発生しません。ただし、偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。

■AnyWireASLINK 伝送仕様

伝送方式	DC電源重畳トータルフレーム・サイクリック方式
同期方式	フレーム/ビット同期方式
伝送手順	AnyWireASLINK プロトコル
接続形態	バス形式 (マルチドロップ、T分岐、スター方式、ツリー方式)
誤り制御	2重照合、チェックサム
RAS機能	伝送線断線検知、伝送線短絡検知、伝送電源低下検知、ID (アドレス) 重複/未設定検知
伝送速度	27kHz固定
伝送点数	512点 (IN: 256点、OUT: 256点)
接続台数	最大128台

■AnyWire DB A20 伝送仕様

伝送方式	全2重トータルフレーム・サイクリック方式
同期方式	フレーム/ビット同期方式
伝送手順	AnyWire DB A20 プロトコル
接続形態	バス形式 (マルチドロップ、T分岐、スター方式、ツリー方式)
誤り制御	2重照合
RAS機能 ^{※3}	伝送線短絡検知、伝送電源低下検知
伝送速度 ^{※3}	31.3kHz設定でのみ使用可
総配線距離 ^{※3}	最大5m
伝送点数 ^{※3}	1024点 (IN: 512点、OUT: 512点) 設定でのみ使用可
接続台数 ^{※3}	AB27-AL 1台のみ接続可

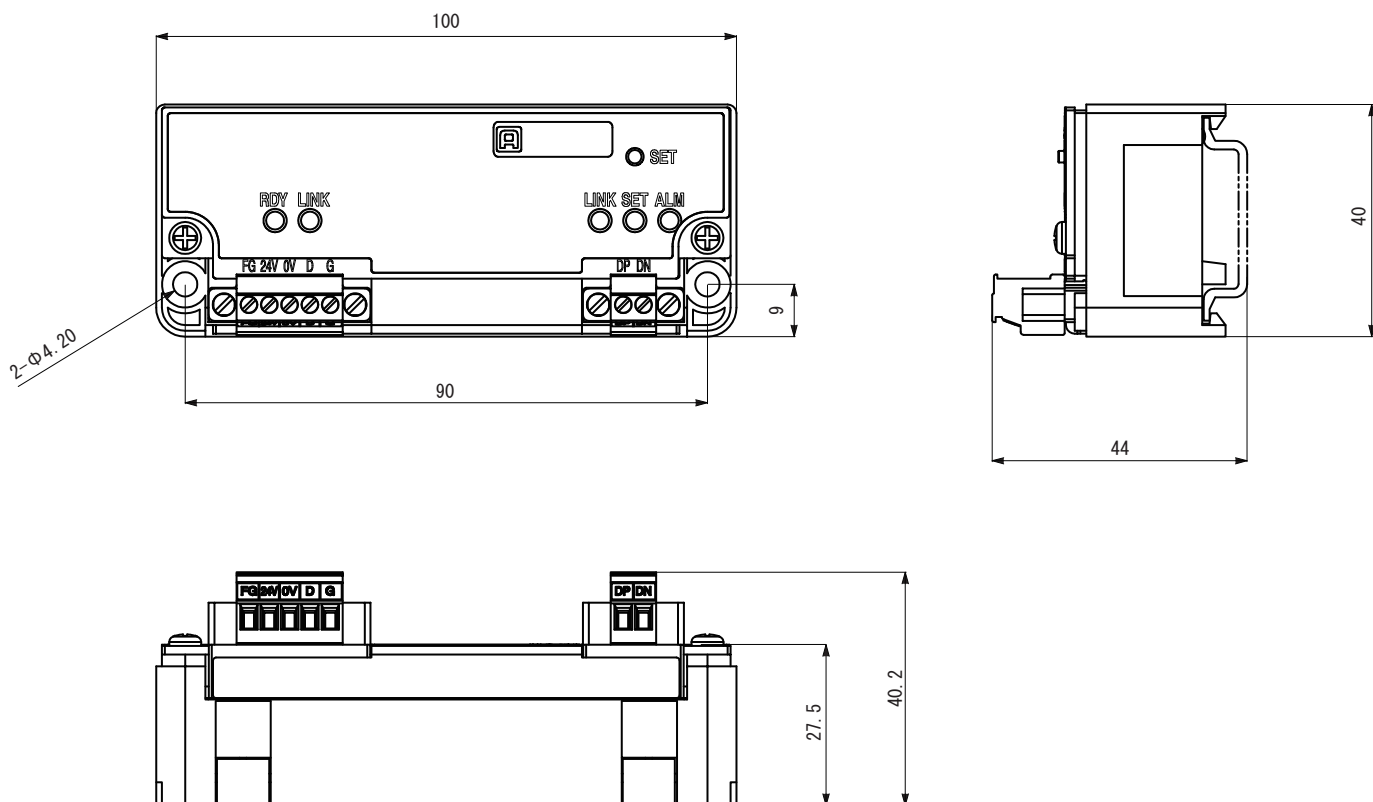
※3 本機使用時の制限です。

■個別仕様

質量	69g
消費電流	100mA (スレーブユニット128台接続時、負荷電流は含まず)

【外形寸法図】

単位: mm



【中国版RoHS指令】

电子信息产品上所示标记是依据SJ/T11364-2006规定,按照电子信息产品污染控制标识要求制定。

本产品的环保使用期限为10年。如果遵守产品说明书中的操作条件使用电子信息产品,不会发生因产品中的有害物质泄漏或突发异变而引发严重的环境污染,人身事故,或损坏财产等情况。

的产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 [Cr(VI)]	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
安装基板	×	○	○	○	○	○
框架	○	○	○	○	○	○


本表格依据 SJ/T11364 的规定编制。

○ : 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。
× : 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。



基于中国标准法的参考规格: GB/T15969.2

【連絡先】

 株式会社エニワイヤ

本社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所
<http://www.anywire.jp/>

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

075-952-8077

■ メールでのお問い合わせ info@anywire.jp